

阿 仏 房 御 返 事

弘安元年六月三日 五七歳

御状の旨いさい委細承り候おわひ畢すんぬ。大覚世尊説きて曰く「生老病死」「生住異滅」等云云。既に生を受けてよわい 齡じゅん 六旬に及ぶ、老又疑ひ無し。只残る所は病死の二句なるのみ。然るに正月より今月六月一日に至り連々此の病息やむこと無し。死ぬる事疑ひ無き者か。經に云はく「生滅しょうめつめつち已、寂滅じゃくめつ為らく樂」云云。今は毒身すを棄て後に金身こんじんを受くれば豈あになげ歎くべけんや。

六月三日

日 蓮 花 押

阿 仏 房